

愛する人へ

島崎藤村 谷崎潤一郎 斎藤茂吉 太宰治

文学者

愛 の 様

夏目漱石 有島武郎 芥川龍之介 室生犀星

家族へ

森静男 与謝野寛・晶子 里見弴 有島武郎

2012年4月21日出~5月27 ■会期 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 会期中無休

新潮社記念文学館 ■会場

[主催]仙北市·仙北市教育委員会

[協力]日本近代文学館

▲有島武郎から妻安子

【大正四年二月十日】

[監修]中村稔(日本近代文学館 名誉館長)·十川信介(日本近代文学館 副理事長) [観覧料]一般 (高校生以上) 300 円 ※20 名以上は団体割引有

[問合せ先]新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁 23 電話 0187-43-3333

どの手紙展

夏目漱石、芥川龍之介、太宰治などの文学者が 恋人、妻、家族などに宛てた手紙の展覧会です。 本展は、日本近代文学館(東京都目黒区駒場) のご協力により、明治以降の文学者の手紙を直筆 で鑑賞していただくものです。

書簡のほか、文学者ゆかりの品も多数展示します。 どうぞご来場ください。

愛する人へ

島崎藤村から加藤静子へ 谷崎潤一郎から根津松子へ 斎藤茂吉から永井ふさ子へ 太宰治から山崎富栄へ

妻~

夏目漱石から鏡子へ 有島武郎から安子へ 芥川龍之介から文へ 室生犀星からとみ子へ

家族~

森静男から長男鷗外へ 与謝野寛・晶子から子供たちへ 里見弴から兄有島武郎へ 有島武郎から母幸子へ

有島武郎から妻安子宛書簡 妻は結核に倒れ、平塚の杏雲堂 病院に入院。有島は西欧の少女 肖像などの絵葉書を用い、妻を 慰める幾百通もの手紙を書いた





森静男らから長男鷗外宛書簡

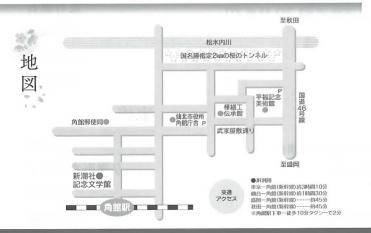
鷗外は、明治17(1884)年ドイツ留学に出発、ライプチッヒ、ドレスデン、ミ ュンヘン、ベルリンで衛生学の研究や陸軍医事の研修にしたがい、明治21 年帰国した。長男の出世と無事を願う家族は、その間、故国や家族の状況を 報らせ、また鷗外の安否・近況を問うために実に熱心に手紙を送っている



室生犀星愛用の水滴



与謝野晶子と子供たち





芥川龍之介愛用のペンとインク壺